

解析サービス紹介

菌叢解析用パイプラインを QIIME1からQIIME2*に変更します

バージョンアップしたマイクロバイーム解析ソフトウェアにより、さらに細やかな解析サービスを提供いたします。

従来のQIIME 1では、一定の相同率の配列同士をまとめた中から代表配列を選び解析を行っています。

そのため、極めて相同性が高い別種の配列を同種由来のものとみなしたり、シーケンシング中のエラーを別種と判別してしまう恐れがありました。

QIIME 2では、一定の相同率で配列同士をまとめずに統計学的にエラーとみなされた配列を除去するアンプリコンシーケンスバリエーション (ASV) 法が採用されており、それらの問題が解消されています。

また、解析アルゴリズムだけでなく解析結果の可視化やシェアのしやすさといった機能面も強化されています。

なお、多様性解析 (α 多様性解析・ β 多様性解析) や群間比較など、ご希望の条件に合わせた統計解析にも対応致しますので、お気軽にお問い合わせください。

* Nat. Biotechnol. (2019) 37: 852–857

【サービススタート】

2023年1月～

【価格】

過去のデータを再解析する場合のみ
5万円/解析 (40検体以下は要相談)

新規のご依頼に追加料金は
発生いたしません。

引き続きQIIME1での解析も承ります。

QIIME 2を用いた解析による細菌叢の存在比グラフ

